

入園・進級おめでとうございます。新しい環境にはもう慣れましたか？



子どもたちの“心身ともに健やかな成長”は みんなの願いです！！



のびのび・すくすく保育園～地域に根ざした子育ての場～

保育園は、子どもたちが日々過ごし心身ともに成長する場です。毎日長い時間を過ごす場所だからこそ、保育園が子どもたちにとって「安心・安全」な場所であることが、何よりも欠かせません。お友達とのかかわり合いや、地域とのつながりの中で、子育ての楽しみや喜びがより深まるのではないのでしょうか。

保護者や保育園職員など、子育てにたずさわるすべての人の共通の願いである、子どもたちの“保育の質の向上”に、一緒に手を取り合って取り組みませんか？

保育園が見つからなくて、働きにいけない…。



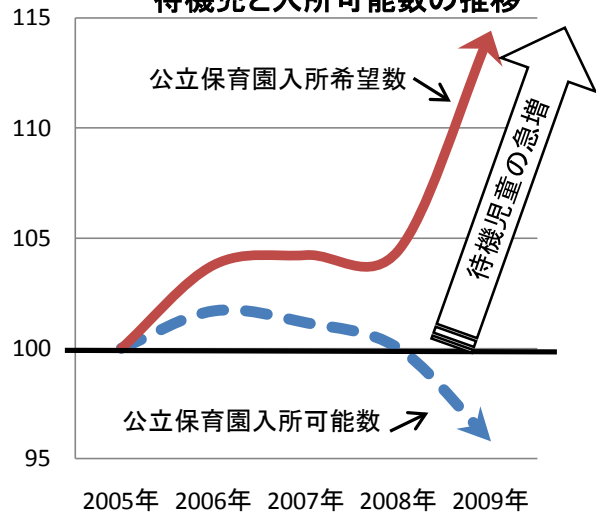
「保育園に入りたいくても入れない！」 待機児が急増～解消策が急務～

不況の反映もあり、「保育園に入りたいくても入れない」待機児が増えています。保育園を探して転居せざるを得ない状況が生まれたり、やむを得ず子どもに留守番をさせる…など、深刻な事態がひろがっています。待機児の解消は、まさに急務の課題です。

しかし、板橋区はこの間、公立保育園の相次ぐ廃園・民営化や0歳児クラスの廃止を進めてきました。これまでに3つの公立保育園が廃園・民営化され、さらに今後4園の廃園・民営化が予定されています。

待機児対策に逆行するかのような区の姿勢に疑問の声が上がっています。

板橋区の公立保育園の 待機児と入所可能数の推移



注記：05年度を100として数値化したもの（データは毎年4月時点）。公立園入所希望者と入所可能数の差を待機児とする

公立保育園に入りたい人が増えているのに、なぜ次々に廃園・民営化するの？

こういう時こそ、区が真っ先に役割を果たすべきじゃないの？



公立保育園が廃園・民営化されると、それまで一緒に過ごしてくれた先生や職員がみんな代わっちゃうんだよね。それって、園児全員で、違う保育園に転園していくようなものよね。

なんで子どもたちにそんな負担を強いなくてはいけないの？

私たちは、すべての子どもたちの健やかな成長のために、公立保育園での責任をもった保育と、保育行政・子育て支援策の拡充を板橋区に求めています

2010
年
5
月
発行

子育ての悩みやご相談など、お気軽にお問い合わせください

☆板橋区職員労働組合保育園分会（板橋区立保育園で働く職員で作る労働組合）
連絡先3579-2756

☆板橋区保育園父母の会連絡協議会

（略称：板橋ふぼれん、保育園に子どもを預けている保護者などが集まり活動している会）

URL—<http://itakids.jp/huboren/>

メールアドレス—itabashi_fuboren@yahoo.co.jp

